

○鶴田町学力向上推進計画(抜粋)【平成20年度】

人づくりのための学校・家庭・地域の役割

・学校では

- 基礎学力の定着
- 読書を通して豊かな心の育成
- あいさつ、学習マナーの習慣化
- 「わかる授業」の展開
- 発達段階に即した家庭学習の促進
- 英語による実践的なコミュニケーション能力の育成

・家庭では

- 早寝・早起き・朝ごはん・あいさつなどの生活リズムの確立
- 家庭学習の習慣化
- 家庭における読書の習慣化
- 規範意識の育成

・地域では

- 家庭教育に対する親への啓発
- 「放課後子どもプラン」事業の充実（学習支援）
- 「学校支援地域本部」事業の推進（ボランティア等の人材・情報提供等）
- 地域に根ざした体験活動等の機会の充実

鶴田町の学力向上における課題と学校・家庭・地域の役割【平成28年度】

課題1. 生活習慣に係る、児童生徒と保護者との認識のずれの解消

保護者は、テレビの視聴時間やスマホの使用時間を、児童生徒が実際に費やす時間よりも長時間と認識している。また、家庭での読書時間を実際よりも短時間と認識している。スマホ等の普及が、様々な危険（トラブルや依存症）につながるという不安がうかがえる。

役割	学 校	家 庭	地 域
	・スマホやタブレットに係る正しい知識を教え、使用時のルールを考えさせる。 ・学校での読書時間を確保するとともに、家庭での読書を推奨する。	・テレビ視聴やスマホ等使用について、家庭でのルールを決めて守らせる。 ・子どもの家庭での過ごし方（生活習慣）をよく観察し、指導する。	・保護者に対し、生活習慣に係る意識啓発を行う。 ・町の図書環境を整備するとともに、「子ども読書活動推進計画」を充実させる。

課題2. 家庭学習の習慣化と学習内容の充実

家庭学習を「する時間」（児童生徒・保護者）、「したい時間」（児童生徒）「してほしい時間」（保護者）とも増加しており、家庭学習に対する意識は向上している。「やらなければいけない学習」から、「質の高い学習」への意識の変化が必要となる。

役割	学 校	家 庭	地 域
	・学習の仕方を継続的に指導する。 ・宿題・課題の内容を工夫する。 ・キャリア教育を充実させ、保護者への意識啓発を図る。	・家庭学習の内容に関心を持ち、宿題以外の学習へ意欲を持たせる。 ・キャリア教育についての理解を深め、学習の目的を意識する。	・保護者に対し、家庭学習に係る意識啓発を行う。 ・教育活動推進員（放課後子ども教室）の研修等を行う。 ・地域に根ざした体験活動等の機会を充実させる。